

文部科学大臣賞

■団体名 延岡市立緑ヶ丘小学校（宮崎県）

■企画名 海と緑ヶ丘小プロジェクト（海の学校 2025）

■目的 「宮崎の豊かな海を未来に残すには？」をテーマに、地元の海を学び、海の恵みを知り、海を楽しみ、海との関わりを正しく認識する。そして、学び終わった時に、自分たちが「海のために出来ること」は何かを考える気づきを得ることができるような学習を目指す。

- 企画内容
- 起1：地元の海を知る。大学の教授による座学① ※○数字は実施場所
 - 起2：身近な海に関心をもつ。【アカウミガメを守ろう！緑っ子長浜クリーン作戦1】②
 - 承1：海の恵みを体感する。地引き網体験③
 - 承2：干潟が支える海の豊かさを学ぶ。潮干狩り④
 - 転1：海で起きている問題を知る。（クジラの骨格標本の組立）①
 - 転2：海と共に生きる未来を考える。水産加工場見学・シーカヤック・海辺の生き物観察③
道徳「クジラとプラスチック」（海プロを経験した私達だからこそ、できること）①
 - 結1：学びを生かし今できることの実践【アカウミガメを守ろう！緑っ子長浜クリーン作戦2】②
 - 結2：活動のまとめ・地域への情報発信：「緑っ子学習発表会」①

■実施期間 2025年4月～11月

■実施場所 ①緑ヶ丘小学校 ②長浜海岸 ③須美江海水浴場・旅行村・水族館
④土々呂コミュニティセンター・妙見干潟

■企画の特徴

本校は、『Have to』から『Want to』へを合言葉に、自分が①働く意味②学ぶ意味を、自他との対話により見出し、『わくわく幸動』できる緑ヶ丘小を目指している。特に、身近な海岸が浸食され、アカウミガメの産卵もなくなる危機的な状況を見聞し、児童にとって、何のために（＝宮崎の豊かな海を未来に残すために）という思いが生まれ、「自分事」になったことが、今回の学びの原動力になっている。

本事業の特筆すべき成果として、日本財団「海と日本プロジェクト」や MRT 宮崎放送等の支援により、専門性とストーリー性を兼ね備えた体験プログラムを実現できた点が挙げられる。また、児童が学びを「自分事」として捉え、自らの体験・学びを地域社会へ発信・還元できたことは、本企画の有効性を強く示すものである。

令和7年度 延岡市立緑ヶ丘小学校 学校経営ビジョン

幸動 ～自他の幸せのために学び行動する子ども（延岡市わかあゆ教育プラン）

【学校教育目標】

夢をもって 自ら学び実践する 人間性豊かな 児童の育成

【学校経営ビジョン】

『Have to』から『Want to』へを
緑ヶ丘小全員で目指すキーワードにし、自分が働く意味、学ぶ
意味を、自他との対話により見だし、『わくわく幸動』できる緑
ヶ丘小を目指す。

わくわく
いやいや
どっちをさがす？

幸動

骨格標本の組立

地引き網体験

カヌー体験

緑っ子学習発表会